

命の大切さを伝える「はるかかのひまわり」

〜阪神淡路大震災で被災した加藤いつかさんの講演会から〜



10年前の1995年に起きた阪神淡路大震災で被災し、震災を通じて命の大切さを伝える活動を行っている加藤いつかさんの講演会が11月中旬、鷹巣小学校と鷹巣西小学校で行われ、児童、父兄らが加藤さんの語る被災体験とその後の前向きな取り組みなどに耳を傾けました。このうち、11月13日(日)に鷹巣小学校で行われた講演のようすを、ご紹介します。



世界中の被災地に植えられて いる「はるかかのひまわり」

講演会は、地域住民に授業など日頃の学校活動を紹介する「みんなの登校日」に合わせて開催されたもので、同校PTA（北林丈正会長）の主催。同校の3年生から6年生までの児童のほか、参観した父兄や地域の皆さんおよそ300人が聴講しました。「はるかかのひまわり」は、震災で亡く



講師の加藤いつかさん。神戸市在住の26歳。15歳のとき阪神淡路大震災で被災。妹のはるかさんと家を失った。現在は、「1・17希望の灯り」というボランティアグループで被災体験を通じて命の大切さを伝えていく活動をしている。主な著書に「はるかかのひまわり（ふきのとう書房）」他。

なつた加藤さんの妹・はるかさんの名前が付けられたひまわりの名称。震災後、はるかさんにちなむこのひまわり

の種が増やされ、命の大切さを伝え、また災害被災者などを元気づけるために、震災被害を受けた神戸市内、ニューヨークの同時多発テロの現場、また津波被害を受けたタイなど世界中の被災地などで植えられています。昨年から今年にかけて、テレビなどでも紹介されましたので、ご存知の方も多いかも

妹の遺体に付き添い、暮らしていた震災直後の生活

加藤さんは、地震が起きたときのようすを淡々と話し始めました。「激しい揺れで家が倒壊し、2階から階下に降りようとすると階段がない。1階に寝ているはずの家族に声をかけても返事がなく、近所の人たちの協力で数時間かけてようやく埋もれていた父母を助け出したが、家具の下敷きになっていた妹のはるかはすでに息がなかった」

倒壊した自宅の跡地に咲いていたはるかさんのひまわり

震災から1年がたち、加藤さん一家は避難所からマンションに移り住みましたが、救出でもお世話になった近所の場所にとくさんのひまわりが咲いているのを見つめます。「鳥や動物を飼っていた近所の家から、鳥の糞にしていたひまわりの種がその場所に散らばったのかもしれない」と加藤さんは話していましたが、この近所の方はひまわりを、はるかさんの生まれ変わりのように思い、被災者を元気づけようと空き地に種をまきます。増えたひまわりは、いつしか「はるか

「はるかかのひまわり」が咲いたら、その絵を書いて送って

のひまわり」と呼ばれるようになって市内に広く植えられ、その後世界中に輪が広がった、との話に児童や父兄らも感銘を受けていたようでした。

加藤さんは途中で子どもたちに「地震が起きた時、非常用のリュックには何を入れますか」と問いかけます。水や食料、携帯電話や家族の写真、などと児童たちが答える用品などをボードに書きとめ、それぞれについて、非常時を想定した使い方などについてアドバイスしていました。

妹の死によってひきこもるようになった自分を克服

しかし加藤さんはその頃のことを、「妹の死を思うととてもつらく、通学途中の沿道に咲いているひまわりを見るのもいやでした」と、ひきこもるようになった当時の自分を語ります。しかしその後、「ある活動家に会ったことなどをきっかけとして『1・17希望の灯り』というボランティア団体に所属し、はるかかのひまわりの種まきに参加するようになった」と話していました。

また、「ひまわりの活動で一番強く印象に残っていることはなんですか」との児童の質問に加藤さんは、「何も言わずにもくもくと10年間もひまわりを育ててくれた近所の人かな」と答え、児童らにも「植えたひまわりが大きく

なつたら、ぜひその絵を書いて送ってね」と依頼し、「はるかかのひまわり」の輪が秋田でも広がることを期待していました。講演後、児童を代表して花束を贈呈した中嶋日那子さん（6年）は、「お話を聞いて命の大切さなどを知りました。いただいたひまわりの種は大切に育てます。これからも活動をがんばってください」と、加藤さんに感謝の言葉を述べていました。

いざというときに備えて避難場所や持ち出し品の確認を

北秋田市でもこれまで何度も大きな災害に見舞われています。昭和47年に



▲贈られた「はるかかのひまわり」の種



▲実際に災害が起きた時の備えについて児童に問う加藤さん



▲講演を真剣に聞く鷹巣小学校の児童たち

危険は突然襲ってきます！

日ごろから、災害が起きたときのために、避難場所、非常品、非常時の用意をしましょう



4・5ページに各地区で指定されている避難場所と、非常持ち出し品の例などを記載しています。